

「ワンチーム」で安全・安心を繋ぐ！



【委嘱式での持丸署長(右)と長田いろはさん(左)】

11月29日、小倉競馬場において、「令和6年小倉南年末特別警戒出発式」を開催しました。

出発式は、事件・事故が多発する傾向にある年末年始を前に、区民の皆様が一丸となって、防犯・防災の意識を高めるために毎年開催しています。

長田さんは、北九州出身であり、また、ラグビー選手の持つ「ワンチーム」の精神が、警察の業務や、区民の皆様が「地域の安全・安心」のために心を一つにして活動する姿に通じるものがあり、今回の委嘱に繋がりました。

長田さんは、防犯パトロール隊等約300名に対し、「ここにお集まりの皆様が、心を一つにして、ワンチームとなって、地域の安全・安心を、子供たちやお孫さんの世代に繋げていき

ましよう」と呼びかけた後、「安全・安心を繋ぐ」という思いをこめて、参加者と、ラグビーボールでパス回しを行いました。

長田さんや参加者を通じて、最後のボールは園児へ渡し、まさに世代を越えた絆が結ばれました。

その後、部隊出発となり、約40台の車両部隊と、約300名の徒歩部隊が、陸上自衛隊小倉駐屯地音楽隊の演奏にのせて、一斉に小倉南区内の巡回へと出発しました。

今回は、参加者全員が「地域の安全・安心」という共通の目的の下、世代を越えて「ワンチーム」となることができ、素晴らしい出発式となりました。

小倉南警察署では、年末年始にあたる12月1日から令和7年1月3日までの34日間を「特別警戒活動期間」と定め、警察車両によるレッド走行、主要交差点等における警戒やマイク広報、金融機関や市民センターへの立ち寄り等、警察官の姿を全面に出して、犯罪抑止活動に全力で努めてまいります。

全力小南新聞



より良い小倉南区実現のために！

11月19日、小倉南警察署で令和6年度第3回小倉南警察署協議会が開催されました。

警察署からは令和6年10月末時点の事件事故発生状況や、地域住民と警察との連携や防犯対策、飲酒運転対策について説明を行いました。

また、委員からは自転車利用者のヘルメット着用率を向上させるための取組等、治安課題について意見が寄せられました。

山岳遭難者捜索・救助訓練の実施

11月6日、平尾台において、山岳遭難者捜索・救助訓練を行いました。

本年、当署管内においては4件(平尾台、福智山、竜ヶ鼻)の山岳遭難事案が発生しています。

今回は、平尾台において、迅速に遭難者の捜索・救助活動を行う為、登山アプリを使用した捜索・救助訓練及び本部鑑識課(警察犬)と協働した訓練を行いました。

登山をする際は、体のコンディションを整え、



家族等に予定を伝え、山岳を管轄する警察署や交番へ「登山計画書」を提出してください。

登山計画書は県警ホームページでダウンロード可能です。

無理のない計画を立て安全な登山をしましょう。

小倉南警察署は、署員全員がワンチームとなり、一致団結して、皆様の安全と安心を守ります！



協議会の開催結果については小倉南警察署のHPから閲覧することが出来ます。

交通事故発生状況(小倉南署管内) 令和6年10月末現在(昨年比)

発生件数	死者数	傷者数
607(-52)	2(-1)	791(-62)

★交通事故の発生件数、死者数、傷者数全てが減少傾向にあります。11月14日に自転車の方が車に追突され、亡くなっています。年末に向け、慌ただしくなる交通事故が増加傾向にあります。気持ちと時間にゆとりをもって、安全運転を心がけましょう！

乗り物盗発生状況(小倉南署管内) 令和6年10月末現在(昨年比)

自動車盗	オートバイ盗	自転車盗
2(-4)	6(-5)	416(+137)

★自転車盗が依然として増加傾向にあります。多くの自転車が無施錠で盗まれていますので、短時間でも必ず施錠しましょう。また防犯カメラや照明設備が整っている管理された駐輪場にとめましょう。



(交通課:鈴鹿巡査部長撮影)

過去の実績から優勝候補筆頭として名前が挙げられていたものの、本番前の試走で前方を走るバイクとのトラブルにより思うような準備ができず、悔しい結果となりました。

大谷選手は試合後、「会場に来てくれた家族のためにも優勝したかった。悔しい気持ちで一杯です。来年に向け安全運転を心がけ、白バイの運転技術を向上させたいと思います。」と意気込みを語りました。

この大会は、県内の白バイ隊員58名が参加し、大谷選手は、警察署2部(乗務歴2年以上)に出場しました。

このクラスは25名で競われ、大谷選手は前半1位、後半9位、総合5位の成績となりました。

優勝経験がある交通指導係の大谷洋幸巡査部長が参加しました。

当署からは、過去に3度の優勝経験がある交通指導係の大谷洋幸巡査部長が参加しました。

白バイ安全運転競技大会
バランス走行の部
優勝
〜総合5位〜
11月9日、福岡県警察自動車運転訓練場で第51回福岡県警察白バイ安全運転競技大会が開催されました。

知らないと損する！最新のだましの手口

【詐欺が流行ってる？】

「詐欺が流行っている」と、最近よく耳にすることが多いと思います。

でも、どのような詐欺の手口が流行っているか、詳しく知っている方は少ないのではないのでしょうか。

色んな所で話を聞いても、難しい内容の連続で、いつの間にかやらちんぷんかんぷん…

そんな皆様のために、今回は、詐欺の手口を分かりやすくやすく具体例に沿って説明します。

【息子が風邪ひいた？】

よくある手口が、息子がたりの詐欺になります。

最近流行っているのは、高齢者宅に、息子をかたる男から「女性を妊娠させてしまった」「解決するのに数百万円必要」という電話がかかってくるものです。

犯人は「風邪をひいた」等と言って声が違つことをごまかしてきます。

皆様は「自分の息子の声くらい分かる」と思つてうっかりいませんか？

実は、統計によると被害者の約60%が、詐欺師の声が子供の声に聞こえたとのこと。子供を思う親心が、脳内で勝手に詐欺師の声を交換してしまつのです。

電話でお金が出たら一旦切つて、信頼できる人に相談しましょう。

【ホントに警察官？】

最近、警察官がたりの詐欺も増えています。

具体例としては、「〇〇警察

です。あなたが事件の容疑者として浮上している、身の潔白を証明する必要があります」等と言つて、口座にお金を送金させるというものです。

急に容疑者と言われ、頭が真っ白になりそうですが、ここでだまされてはいけません。

警察官が捜査のために口座のお金を送金させることは絶対にありません。

犯人は、警察官だけでなく、公務員や弁護士をかたつて、あなたのお金を狙ってきます。

電話口の相手を信用して安易に個人情報教えないようにしましょう。

【電話が使えない？】

電話が使えなくなる詐欺はご存知でしょうか。

今多いのが、総務省、警察、通信業者などをかたり、「あなたの電話が犯罪に使われている。まもなく電話が使えなくなります」といふものです。

電話が使えなくなると思うと不安になつて焦りますよね。犯人は、その気持ちを利用

してお金を振り込むように指示してきます。「電話が使えなくなります」は詐欺です。

そのような電話がかかっても、絶対に信用せず、すぐに電話を切りましょう。

【絶対儲かる？】

皆様も、一度はネットで「投資」の広告を見たことがあるでしょう。

そこに著名人の写真が載つていて、「絶対儲かる」というフレーズがあれば、それは100%詐欺です。

広告をクリックすると、犯人の指定するSNSグループに誘導されますが、グループ員は全員「サクラ」です。

「いくら儲けた」とかブランド品のバッグの写真を載せたりして、あなたの投資の気持ちを煽ります。

絶対に儲かると信じたあなたは、投資名目で、犯人の口座に繰り返し振り込み、詐欺だと気づいたときは、被害額が数千万円なんてことも…。絶対に儲かる話はありませんので、十分注意しましょう。

詐欺対策3ヶ条

まだまだ皆様の周りには、様々な詐欺があります。

次の3ヶ条を覚えて、詐欺から身を守りましょう。

①理解しましょう

「私は大丈夫」は危険です。

詐欺の手口を知り、予防しましょう。

②疑いましょう

電話の相手が子供と名乗っても、声だけで判断してはいけません。

③切りましょう

まずは一旦切り、信頼できる人に相談しましょう。

罰則強化となった自転車の飲酒運転 ～小倉南警察署管内では4名を検挙～

11月1日に施行された改正道路交通法では、▽自転車運転中にスマートフォンを使用する、いわゆる「ながらスマホ」▽自転車の酒気帯び運転及び幫助に懲役刑や罰金刑が科せられることとなりました。

小倉南警察署では、この施行に併せ、自転車のマナーアップや取締りなどの自転車総合対策を強化しました。

主な取組として、小倉南区役所前の「みなみつこ通り」でのヘルメット着用の呼び掛けや、夜間の自転車運転手に対する取締りを実施し、4件の飲酒運転を検挙しました。

また、みなみつこ通りには自転車通行帯が設置されているため、逆走する自転車運転手に対する指導や警告を行いました。

11月中では自転車通行帯の違反に対し、約160件の指導票、いわゆるイエローカードを交付しています。

小倉南警察署では、年末年始に掛け街頭活動を強化します。また、自転車利用者にヘルメットの着用や自転車の安全運転を呼び掛けています。

【自転車運転の罰則】

○スマートフォンを使用しながらの、いわゆる「ながら運転」は、1年以下の懲役または30万円以下の罰金

○自転車の酒気帯び運転は、3年以下の懲役または50万円以下の罰金



【自転車には必ず力ギを】



自転車に関連するものは交通関連だけでなく、防犯関連についても大きな課題になっています。

自転車の盗難は「コロナ禍以降年々増加し、小倉南警察署管内で、本年10月末までに416件発生しています。

福岡県立北九州高校放送部に協力していただき、防犯啓発アナウンスを作成して、人が集まる駅や商業施設で防犯などの呼びかけを行っています。

また、地域の皆様に御協力いただき、駐輪場などに防犯力メラの設置の協力を依頼しています。

自転車の盗難被害の多くは、無施錠の自転車が狙われています。

自転車を駐輪する際は、短時間でも必ず力ギを掛けてください。

また、学校や職場でも自転車の盗難予防対策について、お話ししてみたいかがでしょうか。

小倉南警察署では、皆様の職場などでの防犯講話も受け付けておりますので、お気軽に御相談ください。

【お問い合わせ先】

小倉南警察署

生活安全課生活安全係

☎ 923-0110

(内線261、262)

【警察官の活動に御協力を】

小倉南警察署では、自転車総合対策だけでなく、二重電話詐欺や、リフォーム業者を装った不審者の訪問など、あらゆる治安課題に対処し、地域の皆様が安全安心に生活することができるよう、小倉南区を守るために、管内の隅々まで、パトロールを実施しています。

そして、年末年始は、人や車などの動きが活発となることから、特に警戒活動を強化しており、パトカーや警察官を見かける機会が増加すると思われます。

このように、署員がパトロールを行うにあたって、職務質問などの声掛けを強化しています。

職務質問を受けた人が、実際に犯罪に関与したと認められるのは、ほんの一握りであり、多くが善良な市民の方々です。

ほとんどの場合、すぐに疑問点は解消されますので、警察官は職務質問への御協力に対するお礼と共にパトロールへ戻ります。

警察官から声を掛けられると、「自転車に乗っていただけなのに」「車を運転していただけなのに」などと、良い気持ちがしない場合があるかもしれませんが、安全安心なまちづくりのために必要な活動です。

今後とも、警察官の活動に対する御理解、御協力をよろしくお願い致します。

